



週報



Rotary
第 2570 地区

入間ロータリークラブ

2019-2020 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー RI2570 地区ガバナー:鈴木秀憲 会長:滝沢文夫 幹事:晝間和弘

第 11 号 3092 回例会 2019 年 9 月 19 日 (木)

＜❁会長の時間❁＞ 滝沢文夫会長

今日はインスピレーションスピーチをお願いしていますので、入会后日の浅い方にもロータリーのことを知ってもらうために日本のロータリーの歴史についてお話します。



大正の初めの頃アメリカのテキサス州ダラスに三井物産の子会社で東洋綿花株式会社という会社がありました。この東洋綿花の社長として、三井物産の若手のエリート社員が出向していました。その人が福島喜三治でありました。福島が東洋綿花に出向した時、そこに会社の役員としてウィリアムというドイツ人がいて、この人がダラスロータリークラブの会員でありました。ウィリアムが福島をダラスクラブに連れて行ったところ、福島が興味を持ったので、ダラスクラブに入会させたのです。ここに日本人ロータリアン第一号が生まれました。その後 1917 年にアメリカが第一次世界大戦に参加します。そのころ福島は三井物産の中で社員でありながら本社の決裁を得ないで取引ができる権限を与えられていましたが、第一次世界大戦が 1918 年に突如として終結したために、商品の買い付けに見込み違いが起こり、三井物産に対して莫大な損害を与えてしまいました。そこで、当然のことですが左遷の問題が起こり、東京の本社は、1919 年 12 月、福島に

対して召喚命令を出しました。その結果、福島はダラスクラブを退会することとなり、その送別会の時に、当時の会長が福島に対して東京にロータリークラブを設立してはどうかと持ち掛けました。福島は大変当惑しましたが、結局承諾しました。ダラスの会長は大変喜んで、ガバナーを経由して RI 理事会に伺書を出しています。その結果、1920 年 6 月 30 日までに東京にロータリークラブを設立することの全権委任が福島に与えられました。

福島は、1920 年 1 月頃日本に帰り、早速作業に取り掛かろうとしましたが、ダラスでは東洋綿花の社長でしたが、東京に帰れば社長ではありません。自分の力では何ともならなかったのです。そこで、これは大物の実業家に頼むほかないと考えて、米山梅吉に頼み込んだのです。しかし、その時の米山はロータリーの事がよく判っていなかったために、設立の作業は遅々として進みませんでした。そこで福島は RI に対して期限の延長の願書を出しました。これを見て RI は不安を感じ、期限延長を認める代わりに条件を提示してきました。それはロータリーの手続きに精通しているウィリアム・ジョンストンを共同特別代表とするならば期限の延長を認めるというものでした。そこで、主だった人選については米山が、RI の手続きについてはジョンストンが、その他の雑務については福島が行い、大正 9 年 1920 年 10 月 20 日東京丸の内の銀行クラブにおいて東京ロータリークラブが設立

されるに至ったのです。ですから、東京ロータリークラブは米山梅吉、ウィリアム・ジョンストン、福島喜三治の三人で設立されたといっても良いでしょう。初代会長は米山梅吉、初代幹事は福島喜三治でありました。そして、人格的にも立派な大実業家 24 名の集まりでした。しかしながら、クラブメンバーはロータリーの事はよく判っていませんでした。俺のお陰でロータリーがあると考えるメンバーもいたそうですから、月 1 回の例会も碌に集まりません。例会は毎月一回、第二水曜日でしたが、年末年始は休会にしたりして、真面目にロータリー活動をしていなかったのです。

初代会長の米山は、クラブ維持のために妥協を強いられたと言えるでしょう。したがって、ルールと親睦が対立した時はルールのほうを捨てていました。しかし米山は、のちにクラブが潰れなくなっからはルール厳守を要求するようになりました。これにより、一部から反感を買うことにもなりましたが、このような東京クラブに電撃的なショックが起きました。

大正 12 年 9 月 1 日の関東大震災です。時の RI 事務総長のチェスレー・ペリーは羅立ちに 25,000 ドルの大金を義援金として東京クラブに送ってきたのです。これが呼び水となって、世界中の 503 クラブからこの 25,000 ドルを含めて総額 89,000 ドルの義援金が送られてきたのです。これを見て、腰を抜かすほど驚いたのが米山をはじめ日本のロータリアンでした。今までロータリーなど大した組織ではないと馬鹿にしていたが、これは大変な組織だとわかり、それから謙虚にロータリーの奉仕を学ぶようになったそうです。そしてそれまで特権保有クラブとして、毎週一回の例会の開催を義務付けられていなかった東京クラブでしたが、この特権を放棄して、毎週一回必ず例会を開き、奉仕に耳を傾けるようになったのであります。時に大正 13 年 11 月 14 日の事だったそうです。

<幹事報告>

晝間和弘幹事

・第 2570 地区 鈴木ガバナーより「九州北部豪雨災害被害者に対する義援金のお願い」ご協力依頼が有りましたので会員の皆様ご協力宜しくお願い致します。



・千葉県台風災害 復興支援のお手伝いを会長が考えてます。宜しくお願い致します。

●委員長報告

<親睦活動委員会>

金井祐一委員長

明日 19 時より「和食よへい」にて家庭集会を行います。関係者には事務局より FAX いたします。宜しくお願い致します。



<出席報告>

吉岡信人委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
42 名	29 名	72.50%	72.50%

事前欠席連絡 5 名

<ニコニコBOX>

馬路宏樹 S A A

★菅野会員、吉田会員、天野会員、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしています。「滝沢文夫君、晝間和弘君、馬路宏樹君、齋藤栄作君」

本日¥4,000 累計¥198,539

■回覧、配布物

- ① カバナー月信 8 月号
- ② ハイライトよねやま Vol. 234
- ③ 10/17 入間南 RC との合同例会出欠表
- ④ 10/17 入間南 RC 合ゴルフ会出欠表
- ⑤ 10/31 入間 RC60 周年記念出欠表
- ⑥ 10/6 第 8 回いるま環境フェアご案内
- ⑦ 他ロータリークラブ週報
- ⑧ 週報 10 号

■ ■ イニシエーションスピーチ ■ ■

菅野茂実会員



最初に自己紹介をしたいと思います。私の名前は「菅野茂実」と申します。生年月日は1970年2月16日生まれの水瓶座で、血液型はRh-のA型です。

「菅野（カンノ）」という名字ですが「スガノ」と読まれる方が多く、よく間違われます。この名字、「カンノ」と読む地域は福島県二本松辺りに多く、私の父の出身地でもあります。先日も、ゴルフで一緒した方から福島出身ですか？と尋ねられました。しかしながら、何となく「カンノ」と呼ばれる事も増えましたが、ここ数年、読売ジャイアンツで活躍する菅野（スガノ）投手のお陰で、また名字を間違えられる日々となりました。これもまた知名度の違いと実感しております。「菅野」と書いて「カンノ」と呼びます。皆様方だけでも覚えて頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

次に、私がなぜ入間市に住むことになったのかをお話したいと思います。私の父は、先程も申し上げましたが福島県出身の団塊世代です。若い時に東京に上京し、北海道出身の母と東京で出会い、結婚、東京都葛飾区で私は出生しました。当時、母の兄が航空自衛隊入間基地に勤務しており、それがきっかけで入間市に住む事になりました。いるま幼稚園、黒須小・中を経て現在に至っております。

次は、私の職業ですが、現在、建設業の電気工事店を入間市春日町で営んでおります。20才の頃、電気工事に携わり、33才で独立し、今に至っております。

最後となりますが、この度、入間ロータリークラブに入会させて頂き、大変貴重な10分間というお時間を頂戴し、誠にありがとうございました。まだまだ新参者ですが、諸先輩方からいろいろとご教示を賜り、入間ロータリークラブを楽しんで行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



吉田勉会員



翠松園株式会社の吉田勉です。本日はよろしくお願ひいたします。

私共の会社は造園業を入間市小谷田の中野原稲荷神社参道に構え細々と営業させて頂いております。古くは家業として『吉田屋』の屋号で庭師をするかたわら、中野原稲荷神社参拝者の皆様の休憩処として菓子や団子、土産物の煎餅などを販売し商いをさせて頂いております。

そのような中、私より3代前の『又吉』が家業の他、生け花・踊り等を地域の方々に『翠松庵』の名でお稽古指導されていたそうです。このころより屋号を『吉田屋』から『翠松園』として皆様方にご愛顧頂いておりますが、数年前に入間ロータリークラブメンバーの奥富先輩に私共の経営状況を相談し『翠松園株式会社』として法人成させて頂き現在に至っております。



数年前、「入間ロータリークラブに入会したら？」とお声掛けをくださいましたのは細渕先輩でした。大変有難く思うのと同時に入会させて頂く決心をすることが出来ずに時間を過ごしておりましたが、昨年度になって青年会議所でも大変お世話になっていた第 60 代斎藤栄作会長より入間ロータリークラブについての大変丁寧なご説明を頂き入会する決意を固めさせて頂きました。とは言え、まだまだロータリークラブのことはわかりません。可能な限り積極的に参加させて頂く中で「習うより慣れろ」の精神と同時に自身でも皆様方にご指導いただきながら学ばせて頂きたいと思えます。最近の私の仕事のお話をさせて頂きます。先日千葉県などに大きな被害をもたらせた台風 15 号による倒木伐採処理にこの数日間追われていました。この数年入間市では特に小中学校での倒木被害が多く見受けられます。約 20 年ほど前より入間市では小中学校の樹木管理費がなくなりました。これにより大きく成長した樹木が台風の影響を受けることは簡単に想像できることです。子ども達が安心して過ごせる学び舎づくりに造園業者として地域貢献できればと考えています。

最後に皆様方に今後ご指導申し上げるとともに、この伝統ある入間ロータリークラブに入会させて頂いたことに感謝申し上げます。私のスピーチとさせて頂きます。



私は昭和 42 年に生れで、生れも育ちも狭山市の入曽、入間市は自転車で直ぐという場所で育ちました。小学校は狭山私立山王小学校、中学校は狭山私立山王中学校を卒業しております。入曽という立地上、入間基地の側で毎日飛行機を見ながら育ったものですから、小さい頃から将来の夢は自衛隊のパイロットと決めておまして、どうせ自衛官になるならと、高校は普通の高校には行かず、横須賀にある陸上自衛隊の少年工科学校に入りました。そこでパイロットを目指していた訳ですが、3年6カ月の自衛隊在職中に視力が 2.0 から 0.6 にまで低下しましてパイロットにはさせてもらえず、なんの因果か飛行機を撃ち落とす方の地对空ミサイルのレーダー整備兵に回され、また自衛隊の外の世界にも憧れがあったものですから、自衛隊を退職し 1 年間予備校に通い、大学に進学しております。

大学卒業後、平成 3 年に現埼玉りそな銀行に入学し、そこから約 28 年銀行員として勤務しております。

今年 6 月から入間ロータリークラブの一員にさせていただきましたが、ロータリーの 4 つのテストなど、社会人としての行動指針として大変共感しております。今後、公私ともにより一層社会にお役に立つことを目指していきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所: 〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場: 丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日: 木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長: 宮崎正文

